

15 説明的文章2 全体と部分との関係

組			
番号			
氏名			

1 次の文章を読んで問いに答えなさい。

夕なぎというのは昼間の海風から夜間の陸風に移り変わる中間に、一時無風の状態を経過する、その時をさして言うのである。従って夕なぎが完全に行われるためには、低気圧による風や、また季節風のごときが邪魔をしない事が必要条件である。

夏期瀬戸内海地方で特に夕なぎが著しいのはどういうわけかと思つて調べてみると、瀬戸内海では、元来どこでもいったいに強くない夏の季節風が、地勢の影響のために特に弱められている。そのため海陸風が最も純粋に発達する。従つて風の変わり目の無風が著しく現われるのである。夕なぎに対して、朝なぎもあるが、特に夕なぎの有名なのはそれが気温の高い時刻であるがためであらう。

夕なぎの継続時間の長短はいろいろな事情にもよるが海岸からの距離がおもな因子になる。すなわち海岸から遠くなるほど夕なぎが長くなるわけである。

東京では、夏の暑い盛りに天気の良い日だと夕方涼しい南がかった風が吹くので、瀬戸内海地方のような夕なぎの苦しみを免れている。八月ごろの東京の風の一日じゅうの変化を調べてみると、やはり海陸風に相当する規則正しい風の周期的変化があるが、ただ東京では日々変化の位相が著しくくずれているのと、夏期の南東の季節風がかなりよく発達しているために、夕なぎに相当する時刻にはこの季節風のほうが著しく現われて来るのである。

いったい地球の霧囲気が太陽のために周期的にあたためられるために霧囲気全体の振動が起こり、それが一面には気圧の周期的変化となり、また一面には地球上至るところの風の周期的変化として現われるはずである。たとえば地球が全部大洋かあるいは陸地におおわれているたらこういう原因から起こる一日じゅうの弛張が純粋に現われるかもしれないが、日本の沿岸のような所では地方的な海陸風に相当するものが、各季節を通じてあまりに著しく発達して、上のような地球に関するものがほとんど全くおおい隠されているように見える。

(寺田寅彦「海陸風と夕なぎ」から)

① 「朝なぎ」とありますが、「朝なぎ」とはどのようなときのことを言うのか、「夕なぎ」の説明にならって六十字程度で説明しなさい。

朝なぎというのは夜間の陸風から昼間の海風に移り変わる中間に、一時無風の状態を経過する、その時をさして言うのである。

② 夕なぎの苦しみとありますが、これはどのようなことを意味していますか。本文中の言葉を用いて簡潔に説明しなさい。

夏の暑い盛りの方方に、風がなくなること。

注 「どのようなことか」という問いに対しては、「〜こと」と答えよう。

① 「夕なぎ」と「季節風」に関して、瀬戸内海地方と東京にはどのような違いがありますか。原稿用紙の書き方に従って、百八十字以上、二百字以内で説明しなさい。

瀬戸内海では、元来強くない夏の季節風が	地勢のため特に弱められているので、海陸	風が最も純粋に発達する。従って風の変わり	目の無風状態の夕なぎが著しく現れる。	東京でも海陸風に相当する規則正しい風の	周季的变化があるが、ただ東京では日々変化	の位相が著しくずれていて、夏期の南東	の季節風がかなりよくなるため、	夕なぎに相当する時刻にはこの季節風のほう	が著しく現れて夕なぎは起きない。
---------------------	---------------------	----------------------	--------------------	---------------------	----------------------	--------------------	-----------------	----------------------	------------------